

鼓童

2020

Summer

vol. 379

KODŌ

初のオンライン
アース・セレブレーション
まもなく開催！



| 特集 |

鼓童創立40周年ツアー 第一弾 「鼓」

つづみ
「鼓」

天と地が^わ和し、響きに触れる。

40周年第一弾の作品「鼓」は、太鼓の様々な音色、響きに焦点を当て、新たな見せ方も取り入れ展開する。半世紀にわたり根付いた佐渡の自然や風土、鼓童が会ってきた人々とのストーリーが感じられ、第2弾以降への作品に繋がる舞台となっている。



◎構成・編集:坂本実紀(ライター)、編集部 ◎写真:岡本隆史、鼓童

原点は「佐渡」

「佐渡に根付こうや」と民俗学者の宮本常一先生が仰ってから40余年。今では上は70代、下は20代とちよつと3世代がそろって佐渡で太鼓をたたいている。船橋裕一郎は鼓童創立40周年をむかえ、原点を振り返るとき、鼓童の土台である佐渡がテーマにふさわしいと改めて感じたという。

「鼓」のポスターは、人と太鼓が森の中で向き合っている姿を撮影した。佐渡・小木の蓮華峰寺の手入れされた森と拝殿。人と自然との距離感の中に歴史も加味されているところに、佐渡を象徴する部分も船橋は感じた。その場の雰囲気も舞台上でも見えてくるよう、今回は立体的な表現を取り入れ、同時に奥行きも感じるような見せ方を考えている。

蓮華峰寺は空海が開山したと言われる名刹。あじさい寺としても有名だ。



「舞台でも大太鼓が象徴としてあるので、それを拝殿のようにみたく、『入破』では太鼓が並んでいる森が、という風に舞台の中に佐渡のイメージを重ねて表現しています。拝殿から、人が祈るものがあつたり、そこから祭りがはじまつたり、森の中のような

形に見えてきたり。そこで、太鼓の音に集約していく。それを見せていくことで人間がふわっと浮かび上がってくるようなイメージをつくっています(船橋)。

太鼓があって、人があって、佐渡があって鼓童。そのイメージが見える舞台となつている。

なぜ「入破」か

「入破」は、石井眞木さんが前身の佐渡の國鬼太鼓座から鼓童に変わるときのスタートにと作ってくれた曲だ。新たな領域を意味し、雅楽では変化の形式を表している言葉でもあり、節目に演奏するのにふさわしい。ちょうど鼓童が40周年、石井眞木さんの生誕85周年を迎えるにあたって、今回15年ぶりに挑戦する。

「入破」で中心になるのは米山水木。女性の演奏者がそこを担うのは初めてだ。「道」でのモノクロームの演奏を経て、次の段階へ向かえると判断されての抜擢となった。

「鼓童に入る前に入破を聴いたとき『これはなんだ?』という印象を受けました。今回取り組む中でも、試行錯誤しながら向き



モノクロームなどそれまでの和太鼓にない表現を与えてくださった現代作曲家の故・石井眞木さん。



女性として初めて「入破」の中心を担う米山水木。

合っています。昔の演目を先輩に教えていただく中で、私達若い世代が集まって、その中でしかない表現や、太鼓の音が融合された新しい『入破』をつくりたいと思っています(米山)。

「入破」は今、楽譜を見てさらうことはできても、昔の音を知り、出すことが難しい。石井眞木さんが実際にどこでどういう音を欲しがって、どういう言葉で伝えたいかを伝承できるのは鼓童と共に40周年を迎える齊藤栄一だ。

齊藤は、「道」のような鼓童のDNAを呼び起こす公演をやってきたから、今回「入破」にスムーズに取り組めたと話す。鼓童の成り立ち、先輩たちが何を思い、いま



でに至っているのかを感じ取る一連の流れがあつたおかげで「入破」を伝えるときの濃度があがった、と。今は齊藤が、石井眞木さんが鼓童に伝えた『こだわりなさい』を若手の身体に刻みこんでくれている。

「入破」の特徴は、とことん突き詰めた乱打だ。精神的にも体力的にもどんどん追い込まれる中で、普通には叩けなくなるほど叩き続ける。そこでたどり着く無心さ。極限まで太鼓と向き合うことで、石井眞木さんの求めていた「太鼓の新しい世界」が見えてくる。

永六輔さんから学んだこと

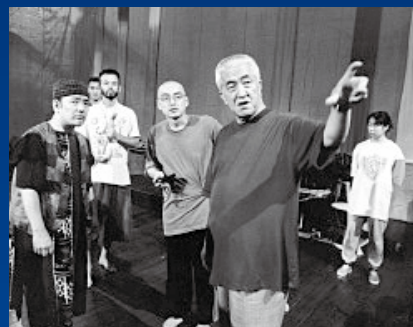
鼓童には「その場を楽しめ」と遊び心を持たせてくれた恩師、永六輔さんもいる。1970年当時、永六輔さんがパーソナリティーを務めていたラジオの深夜番組で、「受験勉強で疲れた諸君は、佐渡にでかけてみるとよい」と若者に向けて「おんこ座夏期学校」への参加をよびかけていた。度々も稽古を重ね、グループ内で完結し

てお客様の前に立つ鼓童に対し、永さんは「そんなんじゃダメだ」とおっしゃっていた。「君たちの舞台は真面目過ぎる、肩がこっちゃう。鼓童と名乗っている割に全然子どもじゃないじゃないか」と愛ある叱咤を幾度となくいただいた。

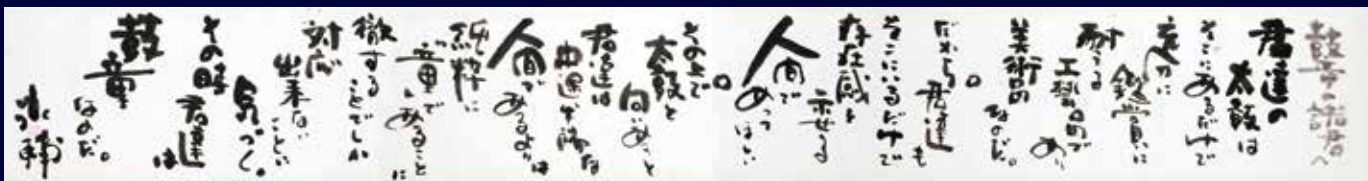
以降、永さんは、芸人さんやミュージシャンの方々に佐渡に連れてきては『ECテナ劇場』(1994年)や『鼓童で遊ぼう』(1996、1998年)など、様々なぶつづけ本番の企画で、度胸をつける機会を与えてくれた。

プロモーションビデオで使わせていただいた言葉は、2000年7月に永さんと鼓童が『佐渡あたりでバチアタリ』というコンサートを鼓童村で開催した直後にいただいた手紙だ。その時永さんが鼓童の相手に選んだのは、まるでガキ大将のような芸人・福尾野歩(ふくおのぼ)さん。

「このときは、前日に永さんがみんなを集めて打合せをしました。野歩さんにも『さあ、何か一芸見せてやりなさい』と無茶ぶりをして、『こいつはテーマでこいつ順番でやる。太鼓持つって、言われたらすぐにやれ』という指示だけをもらい、リハーサルもほとんどなく、翌日ぶつづけ本番の舞台に



2000年7月「佐渡あたりでバチアタリ」公演の稽古の様子



2000年に永六輔さんからいただいた手紙。額に入れて、鼓童村のいつも見える所に掲げられている。

立つんです。いつも大体そんな感じで。永さんは、そういう場を作る天才的な方でした(齊藤栄一)

「芸人はいつ何時、何をふられても『できません』って言っちゃいけない」と教わりました。度胸も根性も鍛えてもらった。おかげで鼓童はトラブルにも逆境にも強くなった。投げ銭公演やぶつけ本番など、色んな無茶ぶりをしながら、『お前たちはこっちへむかっていくんだぞ』って教えてくれた方ですね」(齊藤)

永さんに叱られるばかりだった鼓童に、出会いから三十年目に贈ってくれたこの長い手紙は、永さんから何度も言われてきた、「無心になる、笑いを取り入れる、肩の力を抜いてやる」ということが、ようやくできてきたと認めてくださった証なのかもしれない。

新しい物語

佐渡に根付いて半世紀。鼓童が歩んできた歴史の中にある「人との出会い」と「演目」たちが、舞台の上でまた新しい物語をつくっていく。

今回は、「入破」を筆頭に、新旧入り混じった演目で構成されている。鼓童のカセットアルバムから復活させた曲や、藤本容子が鼓童の今の若いメンバーと一緒に音作りをした佐渡をテーマにした曲、新国立競技場のお披露目のときに住吉佑太がつくった「歩」、池永レオ遼太郎が作った八丈太鼓の打法を取り入れた新しい曲などが盛り込まれている。

鼓童の看板演目「三宅」は、鼓童結成の翌年生まれた。メンバーが各地に分かれて芸能調査や稽古に向った際、佐渡の國鬼太鼓座時代から演奏していた八丈島の太鼓を習いに行く途中で寄港した三宅島で、この太鼓との衝撃の出会いがあった。「鼓」では、その八丈太鼓の打法も取り入れ、鼓童の歴史を思い返していきたいと考えている。

「鼓」で大太鼓を務めるのは、石塚充。船橋と同じく、今まで鼓童をつくってきた上の世代と若い世代の世界観の両方を俯瞰して見ることができ、丁度真ん中位の世代だ。

「今のメンバーが作った作品とか、クラシックな要素がすごく面白い具合にまざりあっていて、音楽性にしても、打法にしても、身体の使い方にしても鼓童の40年



八丈太鼓の打法を取り入れた池永レオ遼太郎の新作も「鼓」で登場する。



研究所修了から約20年を経た石塚充。鼓童の歴史のちょうど真ん中の世代とも言える。

間の中での変化とか進化がすごくよく見える舞台になると思います。自分は新しいものをつくるのが昔のものを守るとかではなく、一物体としてそこに居て、自然体でどれだけおもしろいことができるのかなっていろいろを考えて大太鼓に向かっていきます」(石塚)。

まるみがかでて、力が抜けてきて、よく響くいい音だと船橋が太鼓判を押す大太鼓をぜひ生できいてほしい。

鼓童のストーリーと40周年公演は、つづく

鼓童の歴史の中には、様々な方々の様々なストーリーがある。鼓童が持っている貴重な言葉や音を勉強し直すことは、また新しいものをつくることに繋がると船橋は語る。40周年公演は連作で、第二弾は今回と真逆のアプローチの展開が見られる予定だ。

「今回、しばらく舞台に立てない状態になって、改めて舞台ってお客様と一緒に作っていくものだなと実感しました。お客様がい

て、その空間で作品が練りあがって完成していく。「鼓」が再開する初めてのツアーなので、いつも以上に思いのこもったツアーになるかなと思います」(船橋)

4月からの緊急支援の呼びかけに対して、本当に多くの方々より支援そして応援の言葉をいただいている。その感謝の思いを、再び多くの皆様の前で心に響く演奏を届けることでその気持ちに伝えたい。そして、鼓童の舞台を見て「今日も楽しかったね、明日もがんばろう」と思ってもらいたい。

そう思いながら、今日も佐渡では鼓童が太鼓と向き合い続けている。



見留 知弘 みとめ ともひろ

- Q1. 2009年初夏のヨーロッパツアーは、クロアチア・トルコ・スペインなど初めての国や、ローマ・ロンドン・アテネ・パリ・チューリヒなど、観光三昧ツアーでした!
- Q2. 国内で、色々な祭りをみて回りたい。
- Q3. 「物を大切にすること」
- Q4. 本来であれば今年皆様に観て頂きたかったのですが、来年に向けて感謝と期待を込め、演奏とお話をお楽しみ頂ければと思います。

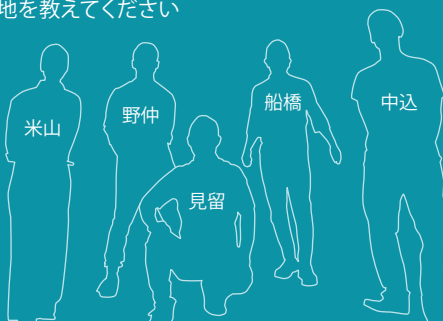
船橋 裕一郎 ふなばし ゆういちろう

- Q1. 2009年初夏のヨーロッパツアー。フェスティバルに参加したり、主要都市はじめ、トルコやイスラエルなど普段なかなか巡ることのできない地域、季節は思い出に残っています。
- Q2. あてどもない旅をしてみたいです…
- Q3. 「一日一生」「滅私」
- Q4. 配信ならではの面白さもあり、演奏もトークも来年の本公演がさらに楽しみとなる内容です。

今月の 鼓童メンバー

今回は、鼓童在籍30周年を迎える見留知弘、そして見留のEC特別企画中心メンバーが登場! 特別企画の見どころとともに、それぞれ舞台とは異なる一面をお届けします!

- Q1. 思い出のツアーもしくは公演地を教えてください
- Q2. 行ってみたい場所は?
- Q3. 好きな言葉を教えてください
- Q4. EC配信企画「見留知弘 鼓童在籍30周年特別企画」の見どころを教えてください



中込 健太 なかごめ けんた

- Q1. 南米ツアー。今まで2回ほどブラジルにいきましたが、食事、ビール、人の元気さ、素敵でした。
- Q2. アイスランド。シガーロスというバンドのMVをみて、なんとなく佐渡のような自然豊かな不思議な印象だったので。
- Q3. 「面白い」
- Q4. 知弘さんの、真っ直ぐさ、懐ふかさ愛情深さ、人間のもつ魅力を、感じてください!

野仲 純平 のなか じゅんぺい

- Q1. 今年は新型コロナウイルスの影響により舞台にあがることがまだできていませんが、今だからできること、しっかり準備を整えて皆様の前で演奏できる日を楽しみにしております。
- Q2. ニューヨークに行ってみたいです! エンターテイナーの街!! いろいろ和太鼓以外のものでも刺激を受けたいです!
- Q3. 「石の上にも三年」
- Q4. 知弘さんの鼓童に入った頃のお話や、ゲストの方々との繋がり、普段では聞けない知弘さんの過去がたくさん見えます!!

※初登場、準団員の野仲純平です。Q1はまだこの状況下、実際のツアーには行けていませんが、これからの公演に向けた意気込みを書いてもらいました。

米山 水木 よねやま みずき

- Q1. 2015年にモンゴル経由で、ロシア・ブリヤート共和国のウランウデという国へ行き、私にとって初海外でしかも準メンバーというなんともスリルある公演でした。
- Q2. カナダのオーロラ「イエローナイフ」を観てみたい!
- Q3. 「常に自分に厳しくあれ」
- Q4. 普段とは少し違った知弘さんの素顔や、ゲストの方々のコメント等々見所いっぱい企画となっております!是非、お楽しみください!

Earth Celebration チャンネル 見留知弘 鼓童在籍30周年特別企画

本来であればECシアターとして開催する予定だった見留知弘の鼓童在籍30周年企画。ただ、何とか今年できることを実現したいとオンラインでの特別企画が実現。本番は来年にとっておいて、その前哨戦としてどうぞお楽しみください!

■日時(予定): 2020年8月21日(金) 18:33~19:12 [40分間]
アース・セレブレーションYouTubeチャンネルから配信します!



舞台『鼓』の幕開けを飾る「入破」。

現代音楽家・石井眞木さんが、自身の作曲した「モノクローム」と異なる、新しい“太鼓の世界”を現出させることを狙いとして、鬼太鼓座から鼓童にかわる節目に贈ってくれた曲だ。

構成・編集：坂本実紀、編集部 写真：富田和明、鼓童

「入破」という曲

銅鑼と拍子木が鳴りながら始まるこの演目は、締め太鼓と中太鼓、センターの奏者の手打ち、最後は三人での乱打とストーリーのように展開してゆく。乱打がひたすらに多く、キャッチーなところがほとんどない現代音楽だ。見どころは、徹底的に突き詰めた演奏者の無心での乱打。極限まで打ちつづける演奏者の高まりや熱量から、音でもない、表現でもない、何かしらがそこできているのを感じる生きもののような演目だ。

石井眞木さんの印象、思い出

作曲家で指揮もされる石井眞木さんは、とにかく音を出すことにこだわる方だった。「眞木さんが『もつと！もつと！もつと！もつと！』そんなんじゃないだめ！」



1981年「入破」初演のリハーサル(ドイツ・ケルン)



1983年入間市での「輝夜姫」の稽古の際

「現代音楽って、やってる側には感情の入れようがないんです。とにかくやる。そのとにかくが突き詰められたとにかく。だからこそ、鼓童の芯の音を入破からも学び取れるかなと思います」(齊藤)

もつとお肉食へてがんばってやってよー！って言うんです。みんながくれたでもう音がなくなっても、まだ散々やってやって『とりあえず今日はOK。本番はもつと音出るよな？』って(齊藤栄一)

眞木さんが「入破」で演奏者に求めているのは「魂の叫び」だということ。もうひとつ、「入破」が先輩の指導なくしては受け継いでいけない理由がある。

「譜面はあるんですけど、稽古していく中でどんどんアップデートされ、変えたものは残っていません。指揮者の方にふっていたら、『あれ？違いますけど』って言われる場面が出てくるので『すみません、眞木さんにこういう風に直せって言われたのでこうやっています』とお伝えしています」(齊藤)

「入破」は、譜面で残っている部分をなぞりながら、においや皮膚感覚を先輩が伝えていかないと完成

「入破」の稽古と難しさ

「入破」の稽古で眞木さんが大切にしていたのは「極限まで打ちつづけることで新しい世界が見えてくること。同時に現代音楽の要素を掴むためにも、いかに曲の中に隠れている感情や、色を見出すかが求められる。」

「大きな音でも、筋肉的なのか、物理的なのかで、『ドン』の音がちがう。『ここはこうたくたく』といわれたのを覚え、うたい、何度も何度も打って身体で覚えました。その体験を今やってもらっている」(齊藤)

口にいれて噛んで、匂いも味も味わつて、ごくごく飲みこみ、それが、血となり、肉となるような演奏になるまで突き詰める必要があるという。

「入破」を演奏する時、追い込まれるのは、太鼓も同じだ。「太鼓がダメになるのは入破だけでしょう。パチは折れるし、胴はボロボロ。人も、でもそれで、何かが残るんですよ」(齊藤)

演奏者は感情を捨て、無心で命を削るようにひたすら太鼓に集中して音を出す。余力を残しては挑めない。だからこそ打ちきれた時は「新しいステップ」へすすむことができるという。

「新しい太鼓の世界」を見て欲しい

聴く人にとっても、演奏者の高ま



りから、色んな風景が見えてくる「入破」。眞木さんは当時「時代が移り変わってきたのにつれて、かつてのような『単色(モノクローム)』の世界から、ある色彩を感じさせるように変わってきたように思います」と語っている。

先輩の指導で若手メンバーが取り組む練習を見た石塚は「昔白黒に感じた入破が、すごくカラフルで瑞々しいイメージに変化している」と感じたという。眞木さんが大切にしていたエッセンスはきちんと込めつつ、「新しい太鼓の世界」を見せてくれる、鼓童四十周年の節目にふさわしい演目となりそだ。

鼓童スクール事業プロジェクト 始動！

距離を超えて太鼓文化を拡げる

ライター
坂本実紀

2020年3月以来、舞台での公演活動が止まったままの鼓童。公演ができないショックや悔しさはあるが、この時間が、これまで行えなかった事と向き合うタイミングにもなっている。

実は、以前から「自分達の太鼓の技術や考え方をできるだけ多くの人に届け、共感してもらいたい」という声がメンバーからあがっていた。そこで始まったのが、鼓童のメンバーによる様々な動画配信の取り組みだ。4月に第2弾を配信開始した「提供楽曲」で、世界各地の太鼓愛好家の方たちから「演奏してみました」と動画が寄せられるなど、ポジティブな反応があったことは、メンバーに手ごたえややりがいを感じさせてくれている。

また今年度は、新研修生が予定通り入所できなかったため、インターネットを通じてコミュニケーションや稽古指導を行った。想定もしていなかった「リモートでの同期の顔合わせ」から始まり、試行錯誤を重ねて得られた経験は、インターネットを使ったスクール事業を具体的にイメージする一歩にもなった。

太鼓を通して交じり合う

プレイヤーやスタッフと話し合う中からも様々なヒントを得た。彼らが鼓童に入るきっかけのひとつに『太鼓交歓』に参加していた自分達の指導者が鼓童の魅力を伝えてくれたから、自分達の目指すところが決まった」というエピソードがあった。

太鼓交歓は、約20年前に「太鼓を叩ける人を対象」として行われた合宿ワークショップだ。鼓童から一方的にノウハウを伝えるのではなく、参加者のフィードバックをもらいながら、スタッフが現場で何をするか相談してすすめる、スリリングで臨機応変なスタイルで行われた。この合宿でヒントになったのは、北米太鼓カンファレンス(2001年ロサンゼルス)。そこには多くの太鼓グループが集まり、ワークショップやコラボレーション、レクチャーが行われ、それぞれが困っている事に気軽にアドバイスし、情報を交換し合える刺激的で新しい場だった。

世界に広がる太鼓の輪

鼓童が目指したいのは、一方向な「教えの場」ではない。太鼓の世界がより豊かになるために交流できる開かれたまなびの場作りだ。

募集するのは、太鼓が好きな個人、そして太鼓グループや、部活動などを指導、運営する人たち。方法は、オンライン会議システムやSNS、ビデオ、合宿などを組み合わせてより深い関係を築けるようなカリキュラムを考えている。

月に一度オンライン上で一緒に太鼓を打つ以外にも、多様な参加者との一体感をつくったり、佐渡や島外に集まって一緒に太鼓をたたく機会を設けたり、時には実際に一緒に太鼓をたたく時間をもったり、ECのステージで演奏してもらうなどの案もでている。同じクラスのメンバーと「同期」意識を持ち、共にすすんでいくのが理想だ。

鼓童にとっても新しい道に

鼓童はこれまでも短い時間での太鼓体験から合宿タイプのワークショップまで、様々なワークショップに積極的に取り組んできた。中には「舞台に立つことがすべて」と考えるプレイヤーもいるが、鼓童塾やエクサドンを経験すると、大きな変化を感じるメンバーも多い。

公演と並行して運営できる体制を整え、人が代わっても続けられるメソッドを固めることで、鼓童の太鼓表現をより豊かに提供する道すじを創っていききたい。

現在、太鼓は世界中に広がり、YouTubeなどでたくさん太鼓の情報と出会い、たたき方もなんとなく身につけることができる。一方で、「太鼓の大切なこと」は何かを知るのには難しい。

前身の『佐渡の國鬼太鼓座』以来、もうすぐ半世紀になる鼓童には蓄積されたノウハウや活動の元になっている考え方がある。鼓童の培ってきた技術やマインドをシェアし、世界中の人と交流することは、太鼓文化の土壌をさらに豊かにするひとつの刺激になるはずだ。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、先の見通せない状況が続いているが、太鼓が鳴り響く未来のために、今できることから鼓童は動き始めている。



※太鼓交歓とは、2000年から2003年まで4年間、「太鼓を叩ける人を対象」として見留知弘を中心として行った4泊5日の佐渡での合宿ワークショップ

新型コロナウイルス感染症の影響により、延期・中止の可能性がございます。最新情報は鼓童サイトをご確認ください。

鼓童公演・特別出演

アース・セレブレーション2020

8/21(金)-23(日)新潟県佐渡市

無観客・オンライン配信にて開催いたします
配信コンテンツ

EarthCelebrationチャンネル(各日14:00-21:00)他
<https://earthcelebration.jp/>

鼓童「交流公演2020」

9/22(火・祝)新潟県三条市

三条市体育文化会館
13:30、18:30開演(1日2回公演)
大人3,000円、中学生以下500円
NSTイベントインフォメーション
Tel. 025-249-8878
※3/7、8から延期

9/26(土)新潟県南魚沼郡

湯沢町公民館 14:00開演
一般2,000円、中学生以下500円
(当日各500円増) 全席自由
湯沢町公民館 Tel. 025-784-2460

9/27(日)新潟県長岡市

長岡市寺泊文化センター 14:00開演
一般2,000円、中学生以下500円
(当日各500円増) 全席自由
長岡市寺泊文化センター Tel. 0258-75-5155

10/24(土)千葉県勝浦市

勝浦市芸術文化交流センター キュステ
15:00開演
3,000円(当日500円増)、高校生以下無料
発売日未定
勝浦市芸術文化交流センター キュステ
Tel. 0470-73-1001

創立40周年ツアー 第一弾 鼓童ワン・アース・ツアー2020～鼓

11/7(土)-8(日)京都府京都市

京都芸術劇場 春秋座 13:00開演
一般6,000円、学生&ユース3,000円(座席限定)
9/17(木)チケット発売
京都芸術劇場チケットセンター
Tel. 075-791-8240

11/23(月・祝)新潟県佐渡市

両津文化会館 14:00開演
5,000円 10/16(金)チケット発売予定
鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

12/4(金)福岡県北九州市

北九州市立黒崎びびしんホール 大ホール
14:00開演
5,500円、U25チケット3,500円(当日500円増)
10/2(金)チケット発売
黒崎びびしんホール Tel. 093-621-4566
※11/3から延期

12/6(日)愛媛県四国中央市

しこちゅ〜ホール
(四国中央市市民文化ホール)大ホール〜おりがみ〜
15:00開演
5,000円、学生(小〜高校)2,000円(当日500円増) 10/16(金)チケット発売
しこちゅ〜ホール(四国中央市市民文化ホール)
Tel. 0896-59-4510

12/8(火)広島県広島市

上野学園ホール(広島県立文化芸術ホール)
19:00開演
一般6,000円、U25チケット 4,000円
10/2(金)チケット発売
鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330
※10/29から延期

12/10(木)愛知県一宮市

一宮市民会館 18:30開演
一般6,500円、学生3,800円
10/2(金)チケット発売
中京テレビ事業 Tel. 052-588-4477
<https://cte.jp/> (平日11:00~17:00/土・日・祝休業)

12/12(土)埼玉県東松山市

東松山市民文化会館 15:00開演
6,000円、U25席3,000円(25歳以下)
発売日未定
チケットポート Tel. 03-5561-9001

12/17(木)-20(日)東京都文京区

文京シビックホール 大ホール
17日19:00開演
18日・20日14:00開演
19日11:00/16:00開演(2回公演)
7,000円 9/18(金)チケット発売
チケットスペース Tel. 03-3234-9999
(平日10:00~12:00、13:00~15:00)

12/23(水)新潟県新潟市

新潟テルサ 19:00開演
6,000円 10/9(金)チケット発売
TeNYチケット専用ダイヤル Tel. 025-281-8000

小編成・ソロ・ワークショップ

鼓童特別編成 日本の響 草加の陣2020

10/3(土)埼玉県草加市

草加市文化会館 開演14:00
S席 5,500円、A席 4,000円、B席 3,000円
出演:伊藤多喜雄(民謡)、竹本駒之助(女流義太夫)、木乃下真市(津軽三味線)、中村明一(尺八)/FOREST、鼓童特別編成
草加市文化会館 Tel. 048-931-9977
(休館日を除く9:00~21:00)
※7/4から延期

小島千絵子ソロ活動

10/6(火)東京都文京区

JACSO(日本芸術文化戦略機構)
設立記念公演 昼の部に出演
宝生能楽堂 14:00開演
学生2,500円~SS席11,000円
8/17(月)チケット発売
カンフェティ Tel. 0120-240-540

10/31(土)愛媛県松山市

愛媛県「県民総合文化祭 総合フェスティバル」ゲスト出演
愛媛県県民文化会館メインホール 13:30開演
入場無料(要入場整理券)
9月初旬詳細発表予定
愛媛県県民総合文化祭実行委員会・愛媛県文化協会 Tel. 089-947-5581(県文化振興課内)

5月号でのお知らせ以降に 延期・中止が決定した公演

鼓童ワン・アース・ツアー2020～鼓

・10/31 愛媛県八幡浜市 ・11/14 静岡県三島市
→2021年に延期、日程は調整中です。

鼓童「交流公演」

・2021/2/28 静岡県周智郡森町
→2021年度に延期予定

白山国際太鼓エクスタジア

・9/22 白山市松任文化会館
→2020年度は中止

2020年 世界の鼓童とともに 芸能の宝島佐渡

・9/27 両津文化会館
→2020年度は中止

This is Nippon プレミアムシアター〜結〜

初音ミク×鼓童スペシャルライブ
・6/20、21 NHKホール
→延期、日程調整中

Friends of Kodō 鼓童の会チケット 先行予約のご案内

先 印のある公演は先行予約があります。会員の皆様は先行予約申込み用紙を同封しております。お申し込み方法はそちらをご確認ください。

料金はすべて税込み、特に表記の無いものは全席指定席、未就学児の入場は不可。鼓童サイトの公演スケジュールのページから各公演会場の情報サイトにリンクしています。感染症対策につきましては、お問合わせのサイトをご参照ください。

鼓童オンラインストアからのお知らせ

■EC 2020 T-shirt

今年のEarth Celebrationはグッズ制作におきましても新しい取り組みをいたしました。「佐渡 鼓童 そして世界は繋がっている!」をデザインコンセプトに「EC2020 T-Shirt Design Competition」と題し、Tシャツのデザインコンペティションを募集。とても素敵なTシャツが完成いたしました。詳しくは「鼓童オンラインストア」WEBサイトをご覧ください。



●Tシャツ
価格3,000円(税込)

特典としてもちろん鼓童オリジナルマグネットをプレゼント!

※Tシャツは7/15より販売しておりますが各色100枚限定での販売ですので売り切れの際には何卒ご容赦ください。

■NEWアルバム『～佐渡もの語り～ゆめのうつつ』 先行販売のご案内

鼓童創立メンバー藤本容子と鼓童メンバーが取り組んだ初めての唄のCDを先行販売いたします。期間内にCDお買い上げの方には、藤本容子と参加メンバーのサイン入りポストカードをプレゼント! 更に送料もお得なこの機会をお見逃しなく!

■価格/3,000円(税込)

■先行販売期間/

2020年8月20日(木)～2020年10月16日(金)

■お申し込み方法/

お電話、ファクス、メール

※お電話での受付は、月～金の9時半から17時までとさせていただきます。

■お支払い方法/銀行振込みのみ

■送料:先行販売期間内のご注文に限り以下の送料にて発送させていただきます。

CD1枚→180円 CD2枚または3枚→520円

CD4枚以上→送料無料

■振込期間/ご請求書到着後1週間以内

■商品発送日/2020年10月17日(土)以降順次発送予定

※上記内容のご対応は『～佐渡もの語り～ゆめのうつつ』CDのみのご購入に限ります。

※その他の商品も一緒にご購入される際には、CDと同じタイミングでの商品発送となります。また、送料に関しましてはオンラインストアの送料に準じます。

■鼓童グッズのお問い合わせはこちらまで

Tel. 0259-86-3630(販売部) <http://store.kodo.or.jp>



2021年度(40期)研修生募集

「太鼓芸能集団 鼓童」メンバー養成コースの応募受付を開始しました。

■研修期間/2021年4月～2023年2月(1年10ヶ月)

■応募資格/鼓童の舞台メンバーを目指す、原則として18歳以上25歳以下(2021年4月1日時点)の健康な方。書類選考を経て、研修所で実地面接による選考を行います。

鼓童ウェブサイト内の応募フォームにてお申し込みください。折り返し、書類選考のご案内をお送りいたします(受付締切:8月20日)。

実地面接(1泊2日) 日程/2020年10月31日(土)～11月1日(日)
場所/鼓童文化財団研修所(佐渡市柿野浦)

実地面接は上記の日程(1回)のみ行う予定です。(2020年7月30日時点)また、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、変更となる可能性があります。

会員限定「オンライン交流イベント」

昨年、東京文京公演期間中に行い好評いただいた企画の第2弾!今回はオンラインでの交流会を企画しました。「鼓(つづみ)」公演を演出する船橋裕一郎(鼓童代表)と、初のオンライン開催となったECの総合演出・石塚充によるトークイベントです。ぜひご参加ください!

日時:2020年9月22日(火・祝)15:00～16:00

会場:オンライン(Zoomを使用いたします)

定員:50名様(先着順)

■参加費/

●友の会:1,000円(ご本人のみご参加いただけます)

●後援会、支援会、特別支援会、賛助会、永年賛助会:
無料(ご本人様以外に1名様をご招待いただけます)

※「1名様をご招待」=会員様とは別の場所からログインしてご参加いただけます。同居のご家族は1画面でご参加可能です。

■お申し込み方法/

鼓童サイト内の「鼓童の会会員限定交流イベント参加申込みフォーム」にてお申し込みください。

お申し込み後には自動返信メールが届きますので、ご確認をお願いいたします。

■受付期間/9月1日(火)10時～9月10日(木)17時まで

※9月14日(月)以降に、お申し込み時にいただいたメールアドレスへご案内を差し上げます。

夏季休業のお知らせ

たたこ館はアース・セレブレーション期間中、臨時休館となります。
どうぞご了承ください。

■ 8/20(木)～23日(日)臨時休館 ■ 8/24(月)定休日

今月の付録

- 「アース・セレブレーション2020」パンフレット
- ECクラウドファンディング用郵便振替用紙
- 「鼓」全情報チラシ
- 「古本募金きしゃぼん」チラシ

コロナ禍の中で

「一人でいることが好き、全然平気です」と、思っていました。

コロナウイルスの影響で、佐渡で4ヶ月間一人で家にいたその後、和知に戻り家族と過ごす中で、気がつきました。大切な人たちにいつでも会えると思っていたからこそ、安心して幸せに一人の時間を過ごせていたことを。

家族への愛おしさが溢れて止まず、友情の永遠が身に染みてるのでした。そうして、私がときに自問する「なんで私は唄い続けているのだろう」という問いに対して「唄うことで、人に会える」という深い喜びがあることに、改めて気づかされたのでした。

ストレスと沈滞のコロナ禍の日々が、人と唄への想いを確かにする日々となりました。「和知」(家族と大地)と「佐渡」(仲間と創造)を合体させた柱をより太く逞しくしながら、私はこれから何ができるのか、模索し体現してまいります。まだまだしぶとく生き切ってゆきます。



藤本 容子

Yoko Fujimoto



2020.3 CD『ゆめのうつつ』録音終了の記念撮影。

● 鼓童NEWアルバム 『～佐渡もの語り～ ゆめのうつつ』

詳細は9ページ「鼓童からのお知らせ」をご覧ください。



写真 上から

- 2013.8 EC「うたのびっくり箱」
- 2019.7 「夏の学校」5.6オクラス(アメリカ コーテズ)
- 2018.7 「Asano Taiko 5周年記念コンサート」
(ロサンゼルス)
- 2017.10 吉利と母弟。和知の秋の収穫。
- 2017.7 永六輔氏追悼公演「歌えや囃せや永song」
<いい湯だな>(たたこう館)
- 2016.7 深い絆の友との集い。
終演後の花束は誕生日のサプライズ(佐渡)

今年はオンライン配信！ アース・セレブレーション2020の楽しみ方 ご紹介

今年のアース・セレブレーションは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「無観客・オンライン配信」という新たな形で行います。ただ「オンライン配信ってどうやって見るの?」という方も多いのでは? 今回、オンライン配信型アース・セレブレーションの楽しみ方をご紹介します。

簡単! しかも無料でご覧いただけます!

Step
1

まずはパソコン、タブレット、スマホなどのご用意を!

インターネット環境があればパソコンやタブレット、スマホなどで簡単にご覧いただくことができます! まずはご自宅の環境をご確認ください。



オススメ!

PCなど大きな画面での視聴を推奨いたします。

タブレット、スマホでももちろんご覧いただけますが、長時間でもあり、大きい画面のパソコンでの視聴をお勧めいたします。さらに大きな画面でご覧になりたい方は、パソコンやスマホから付属のケーブルなどを使って「テレビモニター画面」や「プロジェクタ」に繋いでご覧いただくことも可能です。

Step
2

アース・セレブレーション YouTubeチャンネルへアクセス!

オススメ! YouTubeチャンネル登録をぜひ!

チャンネル登録をしなくても番組や動画をご覧いただくことはできますが、チャンネル登録いただくと、新しい動画が公開された時に見つけやすくなります。そして登録にお金がかかることはありません! 「お気に入りボタン」や「いいね!」のような感覚で、ぜひ登録ボタンを押してECを応援ください!

1 アース・セレブレーション 公式サイトから

アース・セレブレーション公式サイトからEC YouTubeチャンネルにアクセスいただくことができます。

※8/14 EC特設サイト
OPEN (予)

ここからアクセス



2 YouTube 検索から

YouTubeのホーム画面から「アース・セレブレーション」で検索いただくと、公式EC YouTubeチャンネルにアクセスいただくことができます。

ここで検索



ここで登録

Step
3

メイン企画 「Earth Celebration チャンネル」 を楽しもう!

オススメ! チャットでECに参加しよう!

「ライブ配信」ではチャット機能もついています。ぜひコメントなど書き込んでいただき、一緒にECを楽しみましょう! (YouTubeのアカウント作成が必要です)

- 8/21(金)、22(土)、23(日)の3日間毎日、午後2時から夜9時までの7時間、様々な番組が放送されます(番組表は同封のアース・セレブレーションパンフレットをご覧ください)。
- 番組は、アース・セレブレーション YouTubeチャンネルにて「ライブ配信」として放送が流れます。
- 「ライブ配信」にアクセスいただいた時点での、その時に流れている番組をご覧いただけます!(テレビをつけると、その時にやっている番組が流れていると同じだと思っていただければと思います)。ライブ配信終了後はYouTubeチャンネル内の動画としてご覧いただけます。



他にも色々お楽しみ企画あり!

EC YouTubeチャンネルでは過去のECの映像などすでに様々な動画がアップされ、ご覧いただくことができます。また佐渡の美味しいものや「オンラインマーケット(8/17~)」で様々な物販や食など、ECならではのインターネット通販をお楽しみください!



いかがでしょうか? まずは検索サイトで「アース・セレブレーション」と検索の上、EC公式ホームページをご覧いただきEC YouTubeチャンネルにアクセスを! 8/21(金)~23(日)、オンラインで繋がるECをどうぞお楽しみください!

オンラインでの新たなアース・セレブレーション2020 まもなく開催!

8/21(金)-23(日)

33年の歴史の中で、オンライン・無観客という初めての試みとなる今年のEC!メイン企画「Earth Celebration チャンネル」は3日間、午後2時から夜9時まで毎日、YouTubeから多彩なプログラムを配信。その数なんと34番組!すべて無料でご覧いただけます。

詳しい内容は同封のパンフレットをご覧ください。またオンライン配信の見方を11ページに詳しく記載しました。またとない機会、どうぞご自宅にてお楽しみください!



投げ銭(クラウドファンディング)ページ開設! 皆様、ECへの応援よろしくお願いたします!

世界中で中止を余儀なくされる大規模イベントが多い中で、33回という長きにわたって続いてきたこのフェスティバルを中止にはしたくないという思いで新しい形での開催を決断しました。そして1人でも多くの方にご覧いただきたいと、主要コンテンツは無料とし、世界の方にも一緒に楽しんでいただける内容での配信を行います。

今年の新しいECの趣旨に賛同いただける皆さまから、「投げ銭」形式によるご支援をお願いいたします。来年以降もアース・セレブレーションがあり続けられるよう、皆様からのご支援をお願いいたします!詳しくはEC公式サイトをご覧ください。同封の郵便振替用紙もご利用いただけます(8/31まで)。



会員限定
プレゼント

「くらす・まなぶ・つくる展」展示作品



①池永レオ遠太郎 写真(A4サイズ)



②鶴見龍馬 写真(A4サイズ)

いずれも作者の
サイン入りです。



③前田順康 コラージュ(B4サイズ)

EC2019の「くらす・まなぶ・つくる展」にメンバーが出品した展示作品より、3作品を鼓童の会会員の皆さまにプレゼントいたします!



<申込方法>

ご希望の作品の番号、会員ID、お名前、ご住所、電話番号をお書き添えの上、Eメール、ファクス、お葉書のいずれかでお申込みください。

締切:8月31日(月)必着 9月中の発送をもって当選の発表にかえさせていただきます。

今年の「くらす・まなぶ・つくる展」はEC YouTubeチャンネルで開催いたします。ぜひご覧ください。

お申込み ●Email: friends@kodo.or.jp ●Fax: 0259-86-3631
●〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田148-1 鼓童の会「くらす・まなぶ・つくる展」プレゼント係

最新情報は、ウェブサイト facebook Twitter メルマガ をご覧ください。

@KodoHeartbeatJp @KodoHeartbeat @kodoheartbeat

鼓童 検索 https://www.kodo.or.jp

その他、鼓童へのお問い合わせはこちらへ
Tel. 0259-86-3630(代) (月~金 9:30~17:00)
Fax: 0259-86-3631
次号は11月10日の発行を予定しています。